

一般社団法人 日本鉱物科学会 2021年年会・総会のお知らせ

日本鉱物科学会2021年年会・総会を下記の要領で開催しますので、会員、共催学会会員、他皆様多数の参加と講演申込みをお願いします。

なお、今年の年会開催につきましては現地とオンラインによるハイブリット形式を予定しておりますが、今後の新型コロナウイルス感染状況の推移を注視しつつ、安全確保を最優先として、学会本部、関係委員会等と協議して判断して参ります。対応につきましては、決定次第、メールニュース、WEBサイトなどでお知らせいたします。

今年の2021年年会は8件のレギュラーセッションの他に、4件のスペシャルセッション「火成作用の物質科学」、「岩石-水相互作用」、「東アジアのテクトニクス」、「プレート収束域の物質科学」を企画しております。またレギュラーセッション「R7:岩石・鉱物・鉱床 一般」は従来通り資源地質学会との共催セッションですが、「R1 鉱物記載・分析評価」も昨年度同様宝石学会（日本）と共催して行うことになりました。このように日本鉱物科学会年会は、会員の皆様の研究発表の機会であると共に、新たなコラボレーションを模索する場となっておりますので、奮ってご参加をお願いします。

また、学生会員を対象とした「研究発表優秀賞」の審査は、ポスター発表と口頭発表も審査対象になり、受賞者には奨励金*を授与することになっております。年々エントリー数が増加しておりますので、今年も学生会員の皆様には奮ってエントリーをお願いいたします。

なお、今年度は「はやぶさ2」に関する一般普及講演会（オンライン配信）を年会開催後の9月19日（日）に予定しておりますことも併せてお知らせいたします。

年会最新情報は年会WEBサイト(<https://confit.atlas.jp/guide/event/jams2021/top> 5月中旬公開予定)、E-mail配信にて随時お知らせいたしますので、ご確認ください。

1. 会場・日程

会場：広島大学 東広島キャンパス 理学部E棟
〒739-8526 広島県東広島市鏡山1-3-1
日程：2021年9月16日（木）～9月18日（土）

広島大学ホームページアクセス案内：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access>
(詳しいアクセスマップはプログラム公開時にお知らせします。)

* オンライン形式はConfitのシステムを利用し、口頭発表はZoom（現地の口頭発表もZoomへ接続）、ポスター発表はeポスターを予定しております。

2. 会期中および一般普及講演会の予定

(時間は前後することがあります。会場はプログラム公開時にお知らせします。)

日 時	内 容
9月16日(木) 午前・午後	一般学術講演
9月17日(金) 9:00～10:10	一般社団法人日本鉱物科学会定時総会・授賞式
10:15～12:00	受賞者講演
午後	一般学術講演
16:30～18:00	一般社団法人日本鉱物科学会2021年度第1回定例理事会
9月18日(土) 午前・午後	一般学術講演
15:30～16:15	クロージングセレモニー
9月19日(日) 13:00～15:00	一般普及講演会「はやぶさ2」会場：広島大学東広島キャンパス理学部E棟 (一般市民に対してはオンライン配信)

(1) 日本鉱物科学会一般普及講演会「はやぶさ2：小惑星リュウグウ探査6年間の旅、そして地上サンプル分析と新たな旅へ」のお知らせ

年会終了後の9月19日(日)に広島大学東広島キャンパスにおいて、「はやぶさ2」プロジェクトに関する一般普及講演会を開催いたします。

開催日時：2021年9月19日(日) 13:00～15:00

会場：広島大学 東広島キャンパス 理学部E棟

対象：一般市民(オンライン配信)及び学会員

内容：2020年12月6日、小惑星探査機「はやぶさ2」が、小惑星リュウグウの試料を収めたカプセルを地球に持ち帰りました。2021年6月より、鉱物科学会会員も参加している、リュウグウ試料の初期分析が開始されています。今回「はやぶさ2」に関わるメンバー数名をお招きし、プロジェクトのこれまでの成果と今後の期待についてご講演をしていただきます。

共催：日本惑星科学会、広島大学「プレート収束域の物質科学研究拠点」

(2) 研究発表優秀賞

学生会員による研究発表についてエントリーに基づき審査し、優秀な発表を表彰します。受賞者には奨励金(海外渡航支援)を授与しますので、以下の要領で奮ってご参加下さい。

・審査対象	学生会員が筆頭著者として発表するポスターあるいは口頭発表のうち、WEB講演申込み時にエントリーした発表とします。 (WEB登録発表形式選択の際「発表賞エントリー」を選択してください。)
・授賞対象	審査対象発表講演の筆頭著者である学生正会員発表者に対して授与されます。非会員の方はWEB講演申込み期間中7月10日(土)(厳守)まで入会手続きを完了して下さい。
・審査	プログラムに従い、ポスター発表または口頭発表において審査を受けます。
・結果発表	9月18日(土) 15:30からのクロージングセレモニーで審査結果を発表し、研究発表優秀賞授賞式を行います。
・表彰	受賞者に賞状を授与します。また、海外の学会等で研究成果を発表するあるいは海外で調査・研究を行うことを支援するための奨励金*を授与します(上限5万円)。

* 奨励金 (海外渡航支援制度の内容)

- ・研究発表優秀賞を受賞した学生会員に対し、海外の学会等で研究成果を発表する或は海外で調査・研究を行うことを支援するため、奨励金を与える。
- ・海外渡航支援を受ける期間は、受賞から1年以内とする。ただし、コロナ禍の影響により1年以内の海外渡航が困難な場合は、対応を検討する。
- ・支給する額は、本会の旅費規程に基づく実費相当の額とし、一件あたり上限を5万円とする。
- ・本賞を受賞した発表論文の講演番号、講演題目および受賞者名を年会報告とともにGKKに掲載する。また、海外渡航支援を受けたものは帰国後に海外渡航支援の成果を報告することとする。
- ・詳細：http://jams.la.coocan.jp/Presen_Award.html

(3) 懇親会、巡検、見学会

諸般の事情に鑑み、本年の年会では懇親会、巡検、見学会等は企画しておりません。

3. セッション概要

2021年年会で一般講演を募集するセッションは、以下の「スペシャルセッション」4種、「レギュラーセッション」8種です。「趣旨と概要」をご覧になり講演申込期間中(2021年6月23日(水)10:00~7月14日(水)20:00まで)にWEBサイトからお申込をお願いします。(下記表中[a]を@に変えてください。)

スペシャルセッション Special Session	趣旨と概要 Outline	発表形式 Style
<p>S1: 火成作用の物質科学 S1: Earth materials science related to igneous processes</p> <p>コンピーナー Conveners 浜田盛久 Morihisa Hamada mhamada[a]jamstec.go.jp</p>	<p>マンツルの部分融解と初生マグマの発生, 分化, 火山噴火, 鉱床形成, 接触変成作用, メタソマティズムなど, 火成作用の素過程やダイナミクスを読み解く物質科学の最近の発展は目覚ましいものがある。それらの研究は主としてマンツル捕獲岩, 火山岩, 深成岩, 火山ガス, 温泉水などの化学組成の分析や微細構造の観察などに基づき行われている。本スペシャルセッションは, 火成作用の物質科学に関する最新の研究成果の相互交流を通して, 本研究分野の発展に寄与することを目的としている。火成作用の理解に繋がる野外観察・観測, 天然試料の分析, 高温高压実験, 理論モデルなど各分野からの研究発表を歓迎する。</p> <p>Recent advances in Earth materials science to decode igneous processes and geodynamics of magmas, such as partial melting of mantle and generation of primary magmas, differentiation of magmas, volcanic eruption, ore formation, contact metamorphism and metasomatism, are remarkable. Most of these studies are based on geochemical analysis and observation of the micro- to nano-structure of mantle xenoliths, volcanic and plutonic rocks, volcanic gases, hot spring waters and so on. The purpose of this special session is to discuss the latest studies and to promote it. We welcome multidisciplinary contributions based on field observations, analyses of natural samples, high P/T experiments and theoretical modelling to better understand igneous processes.</p>	<p>□頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>
<p>S2: 岩石-水相互作用 S2: Water Rock Interaction</p> <p>コンピーナー Conveners 土屋範芳 Noriyoshi Tsuchiya noriyoshi.tsuchiya.e6[a]tohoku.ac.jp 奥山康子 Yasuko Okuyama okuyama.gsj[a]gmail.com 藤本光一郎 Koichiro Fujimoto koichiro[a]u-gakugei.ac.jp 河上哲生 Tetsuo Kawakami kawakami.tetsuo.3e[a]kyoto-u.ac.jp</p>	<p>本トピックセッションでは, 「岩石-水相互作用」に関わる分野横断的な研究発表, 情報交換を推進すべく, 「みず」をキーマテリアルにして, 地殻流体のキャラクタリゼーション, 変成岩, 火成岩との反応プロセス, 熱水変質, 鉱床, 熱水実験, さらに流体の発生や移動プロセス, 地殻内での流体の存在形態など基礎理論と実験に関する講演を広く募集する。研究の方法も, 野外観察, 実験, 数値計算, モデリングなど多様な発表を期待し, 地球プロセスにおける「みず」の役割を学際的に検討する。あわせて, 除染の鉱物科学, 放射性廃棄物地層処分, 二酸化炭素の地層隔離, 島弧システムと地熱エネルギーなどの地下利用に関する講演も募集する。</p> <p>Topic session “Water – Rock Interaction” involves multidisciplinary research for roles of “fluids” to the Earth Processes, related to metamorphic rocks, volcanic rocks, hydrothermal alteration, ore deposit, hydrothermal experiments, and transport phenomena of fluids. Research methods are also multidisciplinary research methods, such as field survey, experiment, numerical calculation and modeling, will be expected. This topic session also includes geological application such as mineralogical study of radioactive decontamination, nuclear waste geological disposal and carbon dioxide capture and storage and geothermal energy.</p>	<p>□頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>
<p>S3: 東アジアのテクトニクス S3: Tectonics of East Asia</p> <p>コンピーナー Conveners 早坂康隆 Yasutaka Hayasaka hayasaka[a]hiroshima-u.ac.jp 木村光佑 Kosuke Kimura kimurakoske[a]hiroshima-u.ac.jp 柴田知之 Tomoyuki Shibata tomo33hk[a]hiroshima-u.ac.jp ダス カウシク Kaushik Das kaushik[a]hiroshima-u.ac.jp</p>	<p>最近, 島根県津和野地域から日本最古となる新太古代 (2.7 Ga) の花崗片麻岩を含む数 km サイズの大クラトンの異地性岩体が発見された (木村ほか, 2019a,b; Kimura et al., 2021)。今回この発見に関する議論を深めるため, 東アジアのテクトニクスに関する研究発表を広く募集する。</p> <p>Recently, few-km size lenticular bodies of cratonic complex including Neoproterozoic 2.7 Ga granite gneiss, the oldest rock body in Japan, were discovered in the Tsuwano area of Shimane Prefecture SW Japan (Kimura et al., 2019a, b, JGSJ; 2021, EPSL). This oldest basement rock complex is a key unit to understand the tectonic lineage of Japanese Islands with respect to the East Asian cratonic rocks. We welcome researches on tectonics in East Asia to deepen the discussion on this discovery.</p>	<p>□頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>
<p>S4: プレート収束域の物質科学 S4: Earth materials science related to plate convergence region</p> <p>コンピーナー Conveners</p>	<p>広島大学では「プレート収束域の物質科学研究拠点(HiPeR)」を2017年度に立ち上げ, 地球科学的に重要な様々な現象が集中的に発生しているプレート収束域の物質科学研究を推進している。今回広島大学開催を記念して, 本スペシャルセッションを開催する。「岩石と水の循環」・「断層運動の素過程」・「マグマ発生過程」等の現象を「実験」「観測」「野外調査・天然試料の観察」等の研究から明らかにすることを目指している研究発表を広く募集する。</p>	<p>□頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>

<p>井上 徹 Toru Inoue toinoue[a]hiroshima-u.ac.jp 安東淳一 Jun-ichi Ando jando[a]hiroshima-u.ac.jp 片山郁夫 Ikuo Katayama katayama[a]hiroshima-u.ac.jp</p>	<p>Hiroshima Institute of Plate Convergence Region Research (HiPeR)" was established in 2017, and HiPeR has been promoting Earth materials science related to plate convergence region where important various phenomena are intensively occurring. This special session will be held to commemorate this conference in Hiroshima University. We welcome a wide range of researches aiming to clarify the phenomena such as "rock and water circulation", "elementary process of fault movement" and "magma generation process" by "experiment", "observation" and "field survey / observation of natural samples".</p>	
<p>レギュラーセッション Regular Session</p>	<p>趣旨と概要 Outline</p>	<p>発表形式 Style</p>
<p>R1：鉱物記載・分析評価 R1: Characterization and description of minerals</p> <p>コンピーナー Conveners 門馬綱一 Koichi Momma k-momma[a]kahaku.go.jp 長瀬敏郎 Toshiro Nagase toshiro.nagase.d8[a]tohoku.ac.jp 坂野靖行 Yasuyuki Banno y-banno[a]aist.go.jp 黒澤正紀 Masanori Kurosawa kurosawa[a]geol.tsukuba.ac.jp 北脇 裕士 Hiroshi Kitawaki kitawaki[a]cgl.co.jp</p>	<p>本セッションでは、鉱物の記載・評価およびそれらを可能にする分析手法に関する研究を広く募集する。鉱物の様々な特徴（産状・形態・内部組織・結晶構造・組成・流体包有物・固相包有物・結晶欠陥など）、新鉱物記載、宝石鑑別、およびそのための鉱物の分析手法・解析手法の開発についての発表を歓迎する。</p> <p>This session focuses on mineral descriptions, characterization, and analytical methods of earth and planetary materials. Descriptions of occurrence, morphology, internal texture, crystal structure, chemistry, fluid inclusion, solid inclusion, crystal imperfections in minerals, studies on gem identification, and studies on development of analytical methods for mineral sciences are welcomed.</p> <p>Joint Session with The Gemmological Society of Japan.</p>	<p>宝石学会（日本）との共通セッション</p> <p><input type="checkbox"/> 頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>
<p>R2：結晶構造・結晶化学・物性・結晶成長・応用鉱物 R2: Crystal structure, crystal chemistry, physical properties of minerals, crystal growth and applied mineralogy</p> <p>コンピーナー Conveners 小松一生 Kazuki Komatsu kom[a]eqchem.s.u-tokyo.ac.jp 永鷲真理子 Mariko Nagashima nagashim[a]yamaguchi-u.ac.jp 吉朝 朗 Akira Yoshiasa yoshiasa[a]kumamoto-u.ac.jp</p>	<p>本セッションでは、天然および人工鉱物の原子配列および微細構造、鉱物合成、結晶成長や溶解、相転移や物性、および鉱物の応用に焦点を当てた研究を広く募集する。物性では、磁気的性質、光学性質、熱力学的性質、吸着特性などの基本的性質に焦点をあて、その応用についても広く募集する。</p> <p>This session covers structural description of natural and synthetic minerals, their growth and dissolution mechanism together with interesting physic-chemical properties. Presentations dealing with advanced analytical techniques for characterizing a variety of mineral structures and their fundamental properties are welcome.</p>	<p><input type="checkbox"/> 頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>
<p>R3：高圧科学・地球深部 R3: High-pressure science and deep Earth's material</p> <p>コンピーナー Conveners 川添貴章 Takaaki Kawazoe kawazoe[a]hiroshima-u.ac.jp 新名良介 Ryosuke Sinmyo sinmyo[a]meiji.ac.jp 境 毅 Takeshi Sakai sakai[a]sci.chime-u.ac.jp 西 真之 Masayuki Nishi nishimasa[a]jess.osaka-u.ac.jp</p>	<p>プレートテクトニクスやプリュームテクトニクスの概念は、地球深部のダイナミクスが地球の進化や地球表層の環境に大きな影響を与えていることを示唆し、地球深部の鉱物科学を理解することの重要性がより増してきている。本セッションでは、超高压高温実験、計算機実験、地球深部起源鉱物の記載などを通じ、地球深部の鉱物科学を広く議論する。対象は鉱物だけではなく、アナログ物質、非晶質、メルトの研究も歓迎する。</p> <p>It is significantly important to understand the wide range of mineral sciences in the Earth's interior, because dynamics in the Earth's interior must be closely related to not only the evolution of the Earth but also the environment near the Earth's surface. The aim of this session will be to discuss the full range of physical and chemical properties of minerals on the basis of experimental and computational approaches. Targeted materials are not only minerals but also their analogous, amorphous materials and melt.</p>	<p><input type="checkbox"/> 頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>
<p>R4：地球表層・環境・生命 R4: Mineral sciences of the Earth surface</p> <p>コンピーナー Conveners</p>	<p>地球表層を構成するナノ鉱物の結晶構造・化学組成・溶解析出および変質反応、生体鉱物の構造・組織や生成条件、水-鉱物界面の構造や化学現象、無機-有機相互作用など、地球表層鉱物全般および生物作用と環境への影響に関する発表を募集する。</p>	<p><input type="checkbox"/> 頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>

<p>福土圭介 Keisuke Fukushi fukushi[a]staff.kanazawa-u.ac.jp 佐久間 博 Hiroshi Sakuma SAKUMA.Hiroshi[a]nims.go.jp 川野 潤 Jun Kawano j-kawano[a]sci.hokudai.ac.jp 横山 正 Tadashi Yokoyama t-yokoyama[a]hiroshima-u.ac.jp 宇都宮 聡 Satoshi Utsunomiya utsunomiya.satoshi.998 [a]m.kyushu-u.ac.jp</p>	<p>This session aims to present the latest advances in the mineralogical sciences of the Earth surface. The session will cover physical and chemical characteristics of nanoscale minerals, biomineralization, processes at water-mineral interface, inorganic-organic interactions, and others.</p>	
<p>R5：地球外物質 R5: Extraterrestrial materials</p> <p>コンピーナー Conveners 中村智樹 Tomoki Nakamura tomoki.nakamura.a8[a]tohoku.ac.jp 瀬戸雄介 Yusuke Seto seto[a]crystal.kobe-u.ac.jp 橋 省吾 Shogo Tachibana tachi[a]eps.s.u-tokyo.ac.jp</p>	<p>プレソーラー粒子、宇宙塵、隕石、月岩石、リターンサンプルなど地球以外を起源とする固体惑星物質の鉱物科学的な研究発表を募集する。(ただし、国際隕石学会で認められた正式名称が認可されていない隕石についての研究発表は認められません。仮名称 (Provisional)のみ与えられている隕石の場合、発表当日までに正式番号を付与される見込みであることを発表申し込み時にコンピーナーに連絡してください。)</p> <p>We welcome contributions on mineralogical sciences of extraterrestrial materials such as presolar grains, cosmic dust, meteorites, lunar samples, and return samples.</p>	<p>□頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>
<p>R6：深成岩・火山岩及び サブダクションファクトリー R6: Plutonic rocks, volcanic rocks and subduction factory</p> <p>コンピーナー Conveners 伴 雅雄 Masao Ban ban[a]sci.kj.yamagata-u.ac.jp 亀井淳志 Atsushi Kamei kamei-a[a]riko.shimane-u.ac.jp 大場 司 Tsukasa Ohba t-ohba[a]gipc.akita-u.ac.jp 川本竜彦 Tatsuhiko Kawamoto kawamoto.tatsuhiko[a]shizuoka.ac.jp</p>	<p>深成岩及び火山岩を対象にした研究発表（サブダクションファクトリー関連を含む）を広く募集する。発生から定置・固結に至るまでのマグマの物理・化学的挙動や、テクトニック環境について、岩石学・鉱物学・火山学・地球化学・年代学など様々な視点からの活発な議論を期待する。</p> <p>This session focuses on studies of plutonic and volcanic rocks. We expect lively discussions on magma genesis, magma emplacement and their relationship with tectonics, from the viewpoint of various disciplines such as petrology, mineralogy, geochemistry, dating, and geology. This session also welcomes studies on subduction factory that produces continental crust.</p>	<p>□頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>
<p>R7：岩石・鉱物・鉱床一般 R7: Petrology, Mineralogy and Economic geology</p> <p>コンピーナー Conveners 秋澤紀克 Norikatsu Akizawa akizawa[a]aori.u-tokyo.ac.jp 越後拓也 Takuya Echigo echigo[a]gipc.akita-u.ac.jp</p>	<p>岩石学、鉱物学、鉱床学、地球化学などの分野をはじめとして、地球・惑星物質科学全般にわたる岩石及び鉱物に関する研究発表を広く募集する。地球構成物質についての多様な研究成果の発表の場となることを期待する。</p> <p>This session accepts a wide range of petrological, mineralogical, economic geological, and geochemical studies that deal with earth and planetary materials. We expect various discussions about constituent materials of the earth.</p> <p>Joint Session with SRG (Society of Resource Geology).</p>	<p>資源地質 学会 との共催 セッション □頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>
<p>R8：変成岩とテクトニクス R8: Metamorphic rocks and tectonics</p> <p>コンピーナー Conveners 遠藤俊祐 Shunsuke Endo s-endo[a]riko.shimane-u.ac.jp 東野文子 Fumiko Higashino higashino.fumiko.2m[a]kyoto-u.ac.jp</p>	<p>プレート収束境界における地殻・マントルのダイナミクスを理解するため、岩石学、構造地質学、年代学のアプローチだけでなく、流体包有物分析や各種モデル計算、同位体地球化学など様々なアプローチを用いた研究成果を広く募集する。</p> <p>We call for interdisciplinary contributions dealing with crustal and mantle dynamics at the plate convergent boundaries, including approaches from petrology, structural geology, geochronology, fluid inclusion studies, numerical modeling and isotope geochemistry.</p>	<p>□頭発表 ポスター</p> <p>Oral and Poster</p>

4. 各種費用と送金について

(1) 参加登録料など一覧：

・**学会費自動引落利用の会員へお願い：**金融機関自動引落を利用して学会会費を納入している会員の場合に限りご希望なら下記年会参加費や懇親会費を【A】事前割引料金で学会会費と共に口座から自動引落をします。下記(2)をご覧くださいの上2021年7月15日(木)まで(締切厳守)メールで事務局にお申込み下さい。

・参加登録料など送金のご注意

会計処理上の都合で、下記【A】事前割引料金は2021年8月1日(日)から送金を受け付けますので、それ以前に送金をしないで下さい。どうぞご理解、ご協力をお願いします。

また事前割引料金の送金締切は9月4日(土)厳守です。9月5日(日)以降は送金を一切受け付けませんので、年会当日会場受付にて、下記【B】年会当日会場受付料金を現金でお支払い下さい。

ただし、コロナ禍の状況により会場でのお支払いが困難となった場合の対応は、別途ご連絡します。

費用区分	会員区分	【A】事前割引料金 (特にオンライン参加者、 オンライン講演発表者は 必ず事前に送金すること) (自動引落希望者含む) 郵便振替送金締切： 8月1日(日)から受付 9月4日(土)まで(厳守)	【B】年会当日受付料金 (現地参加者のみに対応) 年会開催期間中 当日会場受付で納めて 下さい 9月16日(木)から 9月18日(土)まで
<p>* 講演発表をしないオンライン参加者も下記の事前または当日参加登録料を納入下さい。 * オンライン参加者、オンライン講演発表者の事前または当日参加登録料は、現地への参加者や現地での発表者の事前または当日参加登録料と同額です。 * 現地参加者はオンラインシステムにも参加可能です。</p>			
参加登録料 (電子ジャーナル講演 要旨集WEBサイト 閲覧権込み)	一般会員、共催学会会員	7,500円	8,500円
	学生会員(学生・院生)、 共催学会(学生・院生)会員	3,500円	4,000円
	非会員一般	12,000円	13,000円
	非会員(学生・院生)	6,000円	6,500円
<p>お知らせ：冊子体の講演要旨集の印刷・頒布は行いません。年会開催期間中とその前後に、PDFファイルの電子ジャーナルとして年会WEBサイトに公開します。 講演要旨閲覧方法：参加登録料を納入された年会参加者には、年会間近になりましたら、2021年年会WEBサイトから講演要旨をダウンロードするためのログイン情報をメールで連絡します。年会開催期間中と開催前後の一定期間中に各プログラムサイトから閲覧可能で、更に予稿集PDFダウンロードサイトから一括ダウンロードが可能になります。当日会場受付で参加登録を7手続きの方には、会場受付でログイン情報をお知らせします。なお、無料の閲覧は年会終了後半年以降に公開します。</p>			
<p><お願い>非会員、共催会員の方へ：講演発表をしないオンライン参加希望の非会員、共催会員で参加登録費を納入された方は、口頭発表講演を聴講するためのZoomへのログイン情報、講演要旨集閲覧するためのダウンロードログイン情報などを事務局から連絡しますので、参加者本人のメールアドレスを日本鉱物科学会事務局宛(KYL04223 a nifty.ne.jp)にメールで必ずお知らせください。メールアドレスの通知がないと上記ログイン情報を参加登録者に連絡できず、当年会にオンラインで参加することができなくなります。参加登録費納入後、忘れないでメールアドレスの連絡をお願いします。</p>			

(2) 学会費自動引落利用会員の口座引落希望の場合(自動引落を利用していない会員は申し込みできません)

参加登録料など口座引落希望連絡メール締め切り：2021年7月15日(木)(締切厳守)まで

通知内容：「費用区分」、「料金」、「参加登録料領収書発行希望」など

連絡方法：メールで事務局までお知らせ下さい。

口座引落日：2021年8月6日(金)または8月23日(月)に日本鉱物科学会学会費と共に引き落とします。

(3)[A] 事前割引料金の送金方法：

郵便振替利用の参加登録料などの送金は、会計帳簿の都合上、2021年8月1日(日)から送金を受け付けます。それ以前に送金をしないでください。どうぞご理解のほどお願いいたします。

送金の締切は9月4日(土)まで厳守です。(9月5日以降は送金をしないで当日お支払い下さい。)

送金方法：郵便局備え付けの青色郵便振込用紙を使用(送金手数料本人負担)

郵便振替口座：02260-9-89602 加入者名：一般社団法人日本鉱物科学会

送金明細記入：「費用区分」、「会員区分」、「料金」、「住所、所属、氏名」、「参加登録費領収書発行希望」など必要事項を必ず記載して下さい。

* 上記郵便振替送金以外の銀行送金の場合は、予めメールで上記内容を事務局にお知らせください。

(4) 領収書の発行：

「参加登録費領収書発行希望」と、郵便振替送金の場合は郵便振替用紙に記載、自動引落希望の場合は申込メールに記載して下さい。領収書は「参加登録料」のみ発行します。

領収書お渡し方法：当日参加者には会場受付で名札と共にお渡しします。

オンライン参加者にはPDFファイルの領収書を参加確認後メールでお送りします。

(5) 共催・共通セッション会員：

共催または共通セッションを開催する資源地質学会会員または宝石学会日本会員は日本鉱物科学会会員と同等となり、上記の「一般会員」、「学生会員」参加登録料となります。また、会期中すべての講演を聞くことができます。

但し、講演発表ができるセッションはそれぞれ「R7：岩石・鉱物・鉱床一般」または「R1：鉱物記載・分析評価」セッションのみです。

講演申込は以下の6、7、8の説明に従ってお申し込み下さい。

5. 支払済みの参加登録料、懇親会費などのキャンセルについて

支払済みの参加登録料のキャンセルについては以下の手続きいたします。

* 参加、講演発表キャンセルの場合、学会事務局 (KYL04223[a]nifty.ne.jp) へ必ずメールで連絡して下さい。

* 折り返し事務局から確認通知などご連絡をいたします。

* 返金については下記の通りとなりますので、ご了承願います。なお、返金送金手数料は返金額より差引きます。

参加登録料	[A] 講演発表申込後、2021年7月31日(土)17:00までにキャンセルした場合	講演発表申込者は、申込WEBシステムを利用しているため、その費用を負担していただくため、参加登録料の1/2を請求します。	キャンセル時まで参加登録料未払いの講演発表申込者のキャンセルについて [A]の場合： 半額請求します。 [B][C]の場合： 全額請求します。
	[B] プログラム、講演要旨電子ジャーナル作成中、完成後、2021年9月4日(土)17:00までキャンセルをした場合	(1) 年会参加のみの場合は1/2返金します。 (2) 講演発表申込者には返金しません。	
	[C] 9月5日(日)以降のキャンセル連絡	返金しません。	

6. 講演申し込み期間

2021年年会案内WEBサイト：<https://confit.atlas.jp/guide/event/jams2021/top>

WEB講演申し込み期間：

2021年6月23日(水)10:00 ~ 7月14日(水)20:00まで

ご注意：2021年7月8日(木)はメンテナンスのため利用できません。

注意事項

登録申し込みの最終日時7月14日(水)20:00を過ぎますとサーバーが切断され、一切アクセスできませんのでご注意ください。例年、締切時刻直前から申し込みが混雑しており、アクセス困難や不可能となることがありますので、申し込み期間中の早い時期の申し込みをお願いします。申し込み期間中は登録内容確認、変更が何度でも行えますので、余裕を持って申し込みをお願いします。

7. 講演発表者の条件

講演発表者 条件 (非会員招待講演者には適用 しません)	<p>① 講演発表者は原則として日本鉱物科学会会員に限ります（招待講演者は除く）。 但し、今回の共催セッション[R1]には宝石学会日本の会員，[R7]には資源地質学会会員が発表可能となります。</p> <p>② 著者に日本鉱物科学会会員が含まれない非会員のみでの講演申込みはできません。 但し、非会員招待講演，[R1] [R7]の共催セッションには適用しません。</p> <p>③ 特例 日本鉱物科学会年会での講演発表が今回初めての場合，今回1回限り共著者の中に日本鉱物科学会会員が含まれていれば非会員でも発表者になることができます。（この特例は共催学会会員には適用されません。）なお、昨年以前にこの特例を利用して非会員で発表し、現在も非会員の方は再度の利用はできませんので、入会申し込みをしてから、発表講演の登録をしてください。</p> <p>研究発表優秀賞エントリーは学生会員で筆頭著者であること、発表するポスターあるいは口頭発表が審査対象となります。必ずWEB講演申込み時にエントリーすること。非会員学生がエントリー希望の場合、2021年7月10日(土)までに以下の要領で会員申込を完了すること。なお、研究発表優秀賞のエントリーは、WEB講演申込み時以外の申込はできません。</p> <p>入会申し込み 日本鉱物科学会会員として講演申込みを希望の方は2021年7月10日(土)までに事務局あて入会申込を送信し、事務局から受付完了メールを受領して下さい。入会申込用紙は http://jams.la.coocan.jp/nyukai.htmlからダウンロードして下さい。 入会受付完了をしていない講演申込みは、会員による講演申し込みとして認められませんのでご注意ください。</p> <p>上記条件を満たせば、発表の件数に制限はありません。</p>
---------------------------------------	--

8. 講演申込み方法

- ・ WEB上で講演申し込みをしていただきます。詳細は年会WEBサイトでお知らせします。
- ・ お願い：下記サイトのWEB入力一覧をご覧になり、入力に必要な情報を確認し予め準備して下さい。
<https://confit.atlas.jp/guide/event/jams2021/top>

9. 電子ジャーナル公開講演要旨について

(1) 講演要旨原稿作成について：

- ・ 今までと同じ記載内容の「13. 講演要旨原稿執筆要領」に従い、原稿サイズも変更ありませんのでまずは、WORDなどを使用して**B5判サイズ(横182mm × 縦257mm)**で講演要旨原稿を作成して下さい。A4判サイズではありませんので間違わないようにしてください。
- ・ その次に**著者の責任でPDFファイルに変換して、WEB講演申込みサイトにアップロードして下さい。**
- ・ **注意：**著者が作成したPDFファイルに文字化けがないか、フォントの埋め込みなど正しく表示されているかどうか、原稿サイズ、レイアウトの間違いはないかなど、著者の責任でPDFファイルを確認して下さい。事務局では講演要旨原稿の作成、確認はいたしません。

(2) 講演要旨公開方法

- ・ 講演要旨集冊子体の発行はありませんので、PDFファイル電子ジャーナル講演要旨としてWEBサイトに公開します。
- ・ 年会開催期間中とその前後の一定期間に年会WEBサイトに認証式で講演要旨閲覧と公開をします。
- ・ 参加登録料を納めた年会参加者に、講演要旨公開作業が完了しましたら別途閲覧方法（ログイン情報）をお知らせします。

10. 口頭発表，ポスター発表の注意

(1) 口頭発表の講演時間は質問時間を含めて15分です。

- ・講演では，液晶プロジェクターの使用のみが可能です。
- ・パソコンは，Windowsを各発表会場に1台設置します。
- ・発表用データ作成段階から各自使用するアプリケーションソフトとWindows環境との動作確認をして発表データを準備してください。
- ・当日は各セッション開始前の休憩時間中に発表用ファイルを移し，動作を確認しておいてください。
- ・Mac使用や動画等を含む発表では，コンピューター本体を各自が持ち込み，プロジェクターにつないで発表することが前提になります。特にMac使用の場合はパソコン切り替え機（ケーブル形状はD-SUB15ピン）へのアダプターを忘れずに，ご持参下さい。これらのセッティング時間も講演時間15分に含まれますことを予めご了承下さい。
- ・オンラインでの発表はZoomを利用して行います。現地での発表の際も，Zoomへの接続をお願いします。

(2) ポスターセッションについて

- ・ポスター発表は原則すべてConfitを利用するオンラインeポスター上で掲示していただきます。
- ・**なお，オンラインeポスターではZoom設定はありません。**
- ・発表者が作成したPDFポスターを開催前に指定の方法でご提出いただきます。
- ・PDFの容量は10MB以下で作成をお願いします。
- ・ポスターの事前提出方法，締め切り日は決まり次第，年会HP上に掲載します。
- ・希望者は現地でのポスター発表も可能です。
- ・ポスター用のボードサイズは，**横80 cm × 高さ150 cm**です。
- ・現地でのポスターセッションには質疑応答の時間（コアタイム）を設けます。
- ・オンラインeポスター発表への討論には，Confitのコメント機能をご利用ください。

(3) 研究発表優秀賞にエントリーについて

研究発表優秀賞にエントリーする学生会員は，WEB講演申し込みの際「発表形式」選択で「**発表賞エントリー**」を選択して申し込みして下さい。

11. 年会のプログラム

8月中旬ごろ年会HPWEBサイト：<https://confit.atlas.jp/guide/event/jams2021/top>で公開します。

12. 年会開催までの重要日程一覧

日程，締め切り日	内 容	
6月23日(水)10:00から	WEB上での講演申込み開始日～7月14日(水)まで	指定の講演申込WEBサイト
7月10日(土)まで	講演発表者の入会申込み締め切り	JAMS事務局
7月14日(水)20:00まで	WEB上での講演申込み最終日 締め切り	
7月15日(木)まで	学会費口座引落会員の年会参加登録料など引落申し込み締め切り	JAMS事務局
8月1日(日)から	事前参加登録料など郵便振替送金開始	郵便局などから送金
8月6日(金)	参加登録料など銀行口座引落日	JAMS事務局
8月中旬	プログラム日程公開予定	2021年年会WEBサイト
9月初旬から	オンラインポスターPDFファイルの提出予定時期	
9月4日(土)まで	郵便振替口座への参加登録料など送金締め切り	

13. 講演要旨原稿執筆要領

講演要旨を以下のレイアウトに従って作成してください。原稿サイズはB5判サイズ(横182 mm×縦257 mm)です。WORDなどで作成してから、**著者の責任でPDFファイルに変換して、講演申込みサイト上でアップロードして下さい。**なお、各ファイルサイズは、**3MB以下**になるよう作成してください。

英語による講演要旨執筆要領は英語の年会案内WEBサイトに掲載されています。



14 . 2021年年会各種お問い合わせ先 [a]を@に変えてください。

講演セッション等 行事委員長 磯部博志 E-mail: isobe_hrs[a]kumamoto-u.ac.jp

広島大学開催会場等 LOC委員長 井上 徹 E-mail: toinoue[a]hiroshima-u.ac.jp

Tel: 082-424-7460

WEB登録関係，講演要旨作成，会員番号，入会申込み，参加登録料関係など

一般社団法人日本鉱物科学会 事務局

E-mail: KYL04223[a]nifty.ne.jp TEL/FAX : 022-224-3852

日本鉱物科学会2021年年会運営委員会：

委員長：井上 徹

副委員長：片山郁夫

委員：安東淳一，柴田知之，藪田ひかる，早坂康隆，宮原正明，川添貴章，DAS Kaushik，
佐藤友子，大川真紀雄，小池みずほ，柿澤 翔，CHAKRABORTI Tushar，SARKAR Dyuti，
木村光佑，芳川雅子，横山 正，前田 誠，河田尚美

鉱物科学会2021年年会プログラム委員会：

磯部博志 行事委員長，池田 剛 副委員長，委員：越後拓也，岡本 敦，鍵 裕之，片山郁夫
(2021LOC委員)，瀬戸雄介，寺崎英紀，湯口貴史